



Matsumoto Kiyoshi
Holdings

第6期 第2四半期報告書

平成24年4月1日 ▶ 平成24年9月30日

株主の皆様へ

あなたにとっての、いちばんへ。

1st for You.

目次

P1-2	トップメッセージ
P3-4	トピックス
P5-6	店舗ネットワーク
P7-8	四半期連結財務諸表
P9	会社概要・株主メモ
P10	株式の状況

株主の皆様へ



代表取締役会長兼社長

松本 南海雄

株式会社マツモトキョシホールディングスの第6期第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）の業績と下期に向けた経営方針をご報告するにあたり、ここに謹んでご挨拶申し上げます。

株主の皆様の平素のご支援に対し、厚く御礼申し上げます。

第6期 第2四半期連結累計期間の業績について

◆ エリアドミナント化を推進するとともに、顧客ニーズに合った商品の展開、継続されている効率かつ効果的な販促策、新たな施策の推進などにより売上高、営業利益及び経常利益は同期間における過去最高となりました。

第6期第2四半期連結累計期間における日本経済の状況は、東日本大震災後の復旧・復興に向けた需要拡大を背景に、経済活動や個人消費は一部で持ち直しの兆しが見られたものの、海外の景気減速懸念、長引く円高や株価の低迷など、景気不振懸念が引き続き存在し、先行き不透明な状況で推移しております。

ドラッグストア業界におきましても、花粉飛散量の減少、昨年発生した震災需要の反動減、競合企業の積極的な出店、同質化する異業種との競争などにより、経営環境は大変厳しい状況で推移しました。

このような環境のなか、当社グループは、厳しい環境下でも安定して利益を創出できる収益基盤を確立すべく、これまでに示しております2つの重点施策（①事業構造の変革、②意識・行動の変革）に、新たにマーケティングプロセスの変革を加えた3つの重点施策に取り組むことで、お客様との絆をさらに深めることに注力してまいりました。

また、小商圏化する市場への対応として、各地域における競争優位性を確保すべくエリアドミナント化を推進するとともに、事業規模の拡大と企業価値向上を目的とした直営店舗の出店及び改装、フランチャイズ事業、M&Aなどにも取り組んでまいりました。

売上高に関しましては、連結子会社の増加、新規出店、改装による品揃えの拡大などにより堅調に推移しました。収益面では、花粉飛散量の減少、昨年発生した震災需要からの反動減、天候要因による秋物シーズン商品の低迷などがあったものの、顧客ニーズに合った商品の展開、継続されている効率かつ効果的な販促策、新たな施策の推進などにより伸長しました。

さらに、グループ競争力の強化、シェア拡大に向けたエリアドミナント戦略の一環として、宮城県を中心に62店舗のドラッグストア・調剤薬局を展開する株式会社ダルマ薬局を本年5月14日付で完全子会社化しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高2,277億25百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益84億37百万円（同1.9%増）、経常利益94億94百万円（同3.6%増）、四半期純利益47億68百万円（同7.9%増）と、売上高、営業利益及び経常利益は同期間における過去最高となりました。

下期に向けた経営方針について

- ◆ 創業80周年の節目を迎え、新たな成長への布石とすべく、グループ一丸となって5つの重点課題に取り組んでまいります。

第6期第2四半期連結累計期間の結果を踏まえ、当社グループでは、このような厳しい環境のときこそ基本に立ち返り、お客様から信頼され、選ばれる企業を目指し、更なる企業努力を重ねてまいります。

また、当社グループは平成24年12月に創業80周年の節目を迎えることから、この節目の年を新たな成長への布石とすべく、グループ一丸となって以下の重点課題に引き続き取り組んでまいります。

①エリアドミナント化の推進

全国を7つのエリアに区分し、エリア単位でドミナント化の推進とグループ店舗網の最適化を図ることにより、ドミナントエリア内におけるシェアNo.1を実現する

②徹底した顧客志向の追求

お客様との対話（双方向コミュニケーション）により、

お客様一人ひとりの真のニーズを理解し、それに応えることで長期的かつ良好な関係づくりを実現する

③経営資源の効率化・合理化

資本効率及びキャッシュ・フローを重視した経営への転換により、経営資源を最大限に有効活用し、収益性の向上・財務体質の強化を実現する

④安定的収益基盤の拡充

既存事業の収益性向上を図るとともに、成長分野（新業態開発・ネット通販・海外市場など）へ積極的に投資し、将来の利益の源泉となる事業の創出・育成を実現する

⑤未来を創る自律型人材の育成

次世代をリードする人材の育成と健康づくりの担い手となる専門人材の育成により、地域の活性化を推進し、地域のお客様に喜ばれるサービスの提供を実現する

これら5つの重点課題への取り組みを着実に実行することにより、更なる収益拡大と経営の効率化を図ってまいります。

第2四半期連結財務ハイライト

■売上高の推移 (単位:百万円)



■経常利益の推移 (単位:百万円)



■四半期(当期)純利益の推移 (単位:百万円)



■総資産の推移 (単位:百万円)



■純資産の推移 (単位:百万円)



■1株当たり四半期(当期)純利益 (単位:円)



M&Aによるグループ総合力の強化

当社は、更なるグループ競争力の強化による継続的な成長とエリアドミナント化の一環として新たに株式会社ダルマ薬局の全株式を取得し完全子会社化いたしました。

❖ 株式会社ダルマ薬局の完全子会社化

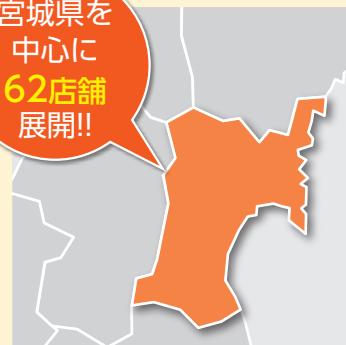
当社は、宮城県を中心に東北地域においてドラッグストアを展開している株式会社ダルマ薬局の全株式（発行済株式数：190,082株）を平成24年5月14日付で取得いたしました。

同社は、「地域の人々により豊かな暮らしと健康を」をモットーに安心して相談ができる身近なドラッグストアとして、宮城県を中心に62店舗（平成24年9月30日現在）を展開しております。

会社概要

所在地：宮城県仙台市青葉区片平一丁目3番35号
代表者：代表取締役社長 岡野 恵一
資本金：50百万円 設立年月日：昭和40年4月30日

宮城県を
中心に
62店舗
展開!!



調剤事業に特化した新会社設立による専門性の強化

当社は、規制緩和による他業種からの参入、価格競争の激化、また、急速な高齢化社会の進展を背景とした医療費の抑制など、医療に関する専門事業の需要拡大を捉え調剤専門会社を新設いたしました。

❖ 株式会社マツモトキヨシファーマシーズの新設

当社は、今後の社会環境の変化を捉え、より高い専門性をもとに医療機関と連携した様々な医療分野への進出・調剤事業の更なる拡大を目的に、調剤専門会社「株式会社マツモトキヨシファーマシーズ」を平成24年4月2日付で新設いたしました。

今後は、地域に密着した「かかりつけ薬局」として、お客様の支持をいただくために調剤事業ならびに医療分野への進出を迅速かつ効率的に推進し、グループとしてのシナジーの創出・最適化を図ってまいります。

会社概要

所在地：千葉県松戸市新松戸東9番地1
代表者：代表取締役社長 大竹 富治
資本金：10百万円 設立年月日：平成24年4月2日



PB商品のご紹介



お客様の視点で開発した マツモトキヨシグループの オリジナル商品

5つのこだわり

1 安心と安全を追求しています。

原材料（成分）の厳選はもちろん、製造工程におけるチェック体制、最終試用テストを実施し、つねに安心と安全の品質を追求していきます。

2 お客様の声を反映します。

新製品開発において、モニター等を実施し、品質や機能において、お客様の意見をしっかりと反映させていきます。

3 お求めやすい価格に設定しています。

高品質を追求しながら、できる限り価格を抑えていきます。お求めやすい価格であることも、大切な基準のひとつだと考えます。

4 ヘルス&ビューティーを見つめた商品を提案します。

健康な生活に役立つ商品、体の内側と外側から美しさへの願望に応える商品など、ドラッグストアならではのセルフメディケーション商品を開発・提案していきます。

5 環境に配慮した商品開発を行っています。

環境に優しい製法や包装、地球の健康に気づかった原材料を徹底させていきます。

MK CUSTOMERの **おすすめ商品**



オーガニックシャンプー・トリートメント

ARGELAN

独自の厳格な基準をもつ本格派オーガニックコスメ『アルジェラン』。植物や海洋成分のパワフルな力が凝縮された贅沢な処方です。

大人の女性のためのプレ美容液

PREDIENT

洗顔後のまっさらな素肌に使用するプレ美容液『プレディエント』。肌本来の貯潤力を補い、化粧水の効果を最大限に引き出します。



肝臓の働きを改善

ヘパリーゼDX 第3類医薬品

疲れやだるさが抜けられない方、胃腸の調子が悪い方、食欲がない方、お酒を飲む機会が多い方におすすめのアミノ酸の滋養強壮剤です。



Matsumoto KiYoshi
Holdings

株式会社 **マツモトキヨシ** ホールディングス

店舗総数 >>> **1,327** 店舗
(平成24年9月30日現在)

◆ ネットワーク (平成24年9月30日現在)

株式会社マツモトキヨシホールディングス

小売事業会社

株式会社マツモトキヨシ	(本社) 千葉県松戸市
株式会社マツモトキヨシ東日本販売	(本社) 宮城県仙台市青葉区
株式会社マツモトキヨシ九州販売(注1)	(本社) 鹿児島県鹿児島市
株式会社ラブドラッグス	(本社) 岡山県岡山市南区
株式会社ばばず	(本社) 東京都墨田区
株式会社マツモトキヨシ甲信越販売	(本社) 長野県岡谷市
株式会社トウブドラッグ	(本社) 埼玉県越谷市
株式会社イタヤマ・メディコ	(本社) 山梨県甲府市
株式会社ダルマ薬局	(本社) 宮城県仙台市青葉区
弘陽薬品株式会社	(本社) 大阪府大阪市生野区
株式会社マツモトキヨシファーマシーズ	(本社) 千葉県松戸市

卸売事業会社

株式会社茂木薬品商会	(本社) 東京都文京区
伊東秀商事株式会社	(本社) 千葉県松戸市

その他の 事業会社

株式会社エムケイプランニング	(本社) 千葉県松戸市
株式会社マツモトキヨシ保険サービス	(本社) 千葉県柏市
株式会社ユーカリ広告	(本社) 千葉県柏市

(注1) 株式会社マツモトキヨシ九州販売は、平成24年10月1日に本社を鹿児島県鹿児島市から福岡県福岡市へ移転いたしました。

(注2) 弘陽薬品株式会社の店舗数は、株式会社マツモトキヨシより業務受託している3店舗を除いております。

(注3) 株式会社マツモトキヨシの店舗数は、ネット通販1店舗を含んでおります。

株式会社マツモトキヨシ

マツモトキヨシ

全国に
695店舗展開



関東エリア(注3)	559店舗
甲信越エリア	2店舗
東海・中部エリア	36店舗
関西エリア	60店舗
中四国エリア	16店舗
九州エリア	22店舗

株式会社マツモトキヨシ九州販売

マツモトキヨシ 九州販売

九州・中四国エリアに
151店舗展開



中四国エリア	1店舗
九州エリア	150店舗

株式会社ラブドラッグス



関西・中四国エリアに
41店舗展開



関西エリア	5店舗
中四国エリア	36店舗

九州エリア
マツモトキヨシ
マツモトキヨシ九州販売

株式会社マツモトキヨシ甲信越販売

マツモトキヨシ 甲信越販売



東北・甲信越エリアに
77店舗展開

東北・北海道エリア	1店舗
甲信越エリア	76店舗

株式会社イタヤマ・メディコ

イタヤマメディコ



甲信越エリアに
10店舗展開

甲信越エリア	10店舗
--------	------

弘陽薬品株式会社

ココロドラッグ



関西エリアに
9店舗展開

関西エリア(注2)	9店舗
-----------	-----

甲信越エリア

マツモトキヨシ
マツモトキヨシ東日本販売
マツモトキヨシ甲信越販売
イタヤマ・メディコ

関東エリア

マツモトキヨシ
マツモトキヨシ東日本販売
ダルマ薬局
ぱぱす
トウブドラッグ

東海・中部エリア

マツモトキヨシ
マツモトキヨシ東日本販売

東北・北海道エリア

マツモトキヨシ東日本販売
マツモトキヨシ甲信越販売
ダルマ薬局

株式会社マツモトキヨシ東日本販売

マツモトキヨシ 東日本販売



東北・関東エリアを中心に
109店舗展開

東北・北海道エリア	31店舗
関東エリア	67店舗
甲信越エリア	8店舗
東海・中部エリア	3店舗

株式会社ダルマ薬局

ダルマ



東北・関東エリアに
62店舗展開

東北・北海道エリア	61店舗
関東エリア	1店舗

株式会社ぱぱす



関東エリアに
141店舗展開

関東エリア	141店舗
-------	-------

株式会社トウブドラッグ

トウブドラッグ



関東エリアに
32店舗展開

関東エリア	32店舗
-------	------

中四国エリア

マツモトキヨシ
ラブドラッグ
マツモトキヨシ九州販売

関西エリア

マツモトキヨシ
ラブドラッグ
弘陽薬品

◆ 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 平成24年9月30日現在	前期末 平成24年3月31日現在
資産の部		
流動資産	96,152	92,480
固定資産	126,655	121,924
有形固定資産	65,310	62,691
無形固定資産	11,548	9,461
投資その他の資産	49,796	49,771
資産合計	222,807	214,404
負債の部		
流動負債	92,261	72,159
固定負債	11,713	26,523
負債合計	103,975	98,683
純資産の部		
株主資本	117,903	114,528
その他の包括利益累計額	△306	△467
新株予約権	23	14
少数株主持分	1,212	1,645
純資産合計	118,832	115,721
負債・純資産合計	222,807	214,404

1 財政状態の状況

- 資産合計は2,228億7百万円となり、前連結会計年度末に比べて84億2百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金が27億21百万円、流動資産のその他が18億88百万円、無形固定資産のその他が15億15百万円、土地が14億93百万円、有形固定資産のその他が11億25百万円、それぞれ増加したことによるものです。
- 負債合計は1,039億75百万円となり、前連結会計年度末に比べて52億91百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が27億63百万円、流動負債のその他が19億33百万円、それぞれ増加したことによるものです。
- 純資産合計は1,188億32百万円となり、前連結会計年度末に比べて31億10百万円増加いたしました。主な要因は、配当金による13億93百万円の減少があったものの、四半期純利益47億68百万円を計上したことによるものです。

2 業績の状況

- 売上高・営業利益・経常利益は同期間における過去最高となりました。(前年同期比：売上高 6.0%増 営業利益 1.9%増、経常利益 3.6%増、四半期純利益 7.9%増)
- 売上高は、連結子会社の増加、新規出店、改装による品揃えの拡大などにより堅調に推移しました。
- 収益面は、花粉飛散量の減少、昨年発生した震災需要からの反動減、天候要因による秋物シーズン商品の低迷などがあったものの、顧客ニーズに合った商品の展開、効率かつ効果的な販促策などにより伸長しました。

3 キャッシュ・フローの状況

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

- 主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益82億51百万円、減価償却費24億13百万円、たな卸資産の減少額16億43百万円、仕入債務の増加額15億95百万円であり、主なマイナス要因は、法人税等の支払額35億94百万円であります。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

- 主な要因は、敷金及び保証金の回収による収入7億18百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出13億77百万円、子会社株式の取得による支出11億円があったことによるものです。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

- 主な要因は、長期借入金の返済による支出30億17百万円、短期借入金の減少額24億36百万円、配当金の支払額13億92百万円があったことによるものです。

◆ 四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	前第2四半期 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで
売上高	227,725	214,760
売上原価	164,533	154,640
売上総利益	63,192	60,119
販売費及び一般管理費	54,755	51,836
営業利益	8,437	8,283
営業外収益	1,176	966
営業外費用	119	80
経常利益	9,494	9,168
特別利益	8	22
特別損失	1,250	1,012
税金等調整前四半期純利益	8,251	8,178
法人税、住民税及び事業税	3,622	3,954
法人税等調整額	△194	△310
少数株主損益調整前四半期純利益	4,823	4,534
少数株主利益	55	116
四半期純利益	4,768	4,418

◆ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	前第2四半期 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,676	9,872
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,480	△2,286
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,474	△9,697
現金及び現金同等物の増減額	2,721	△2,111
現金及び現金同等物の期首残高	9,656	10,542
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,378	8,430

詳しい財務情報は当社IR
サイトでご覧いただけます

<http://www.matsumotokiyoshi-hd.co.jp/ir/index.html>



■ IRサイトの主なコンテンツ

決算短信	会社案内
財務ハイライト	有価証券報告書
適時開示書類	財務諸表
売上月次報告	IRポリシー・免責事項
年次報告書	

会社概要

(平成24年9月30日現在)

- 名称……………株式会社マツモトキヨシホールディングス
- 所在地……………〒270-8511 千葉県松戸市新松戸東9番地1
- 電話番号……047-344-5110 (代表)
- 設立……………平成19年10月1日
- 資本金……………210億86百万円
- 事業内容……子会社の管理・統轄及び商品の仕入・販売
- 従業員数……正社員：5,545名
(連結) パート：7,815名 (8時間換算)
合計：13,360名

役員

(平成24年9月30日現在)

代表取締役会長兼社長	松本南海雄
専務取締役	成田一夫
専務取締役	松本清雄
取締役相談役	松本鉄男
取締役	根津孝一
社外取締役	大爺正博
社外取締役	小林諒一
社外取締役	大山健一
監査役(常勤)	大森哲夫
社外監査役	鈴木哲
社外監査役	日野実

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
1単元の株式数	100株
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人 特別口座の管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 (証券コード3088)
公告の方法	電子公告 公告掲載URL http://www.pronexus.co.jp/koukoku/3088/3088.html ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株式の状況

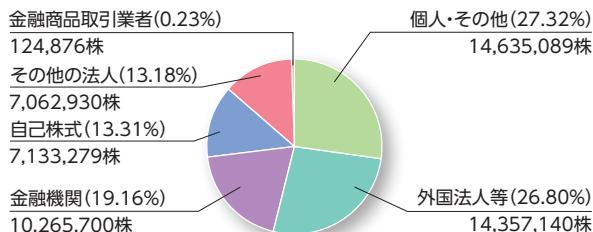
(平成24年9月30日現在)

- 発行可能株式総数…………… 210,000,000株
- 発行済株式総数…………… 53,579,014株
- 株主数…………… 21,065名
- 大株主 (上位10名)

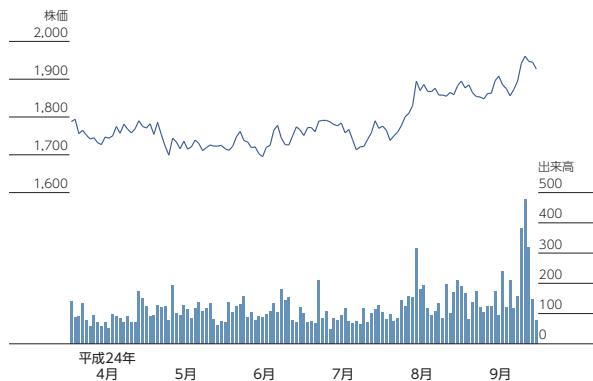
株主名	保有株式数 (単位：株)	持株比率 (単位：%)
ノーザントラストカンパニー (エイブイエフシー) サブアカウント アメリカンクライアント	5,971,085	12.86
松本 鉄男	5,615,400	12.09
松本 南海雄	4,175,440	8.99
株式会社千葉銀行	2,257,800	4.86
ノーザントラストカンパニーエイブ イエフシーリユーエスタックスエグ ゼンプトデ Pensionファンズ	2,252,400	4.85
株式会社南海公産	1,743,588	3.75
エーザイ株式会社	1,407,500	3.03
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社 (信託口)	1,267,100	2.73
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社 (信託口)	1,079,600	2.32
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社 (信託口9)	652,300	1.4

(注) 1. 当社は自己株式7,133,279株を保有しておりますが、上記の表には記載しておりません。
2. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式数を減じた株式数 (46,445,735株) を基準に算出し、小数第3位以下を四捨五入しております。

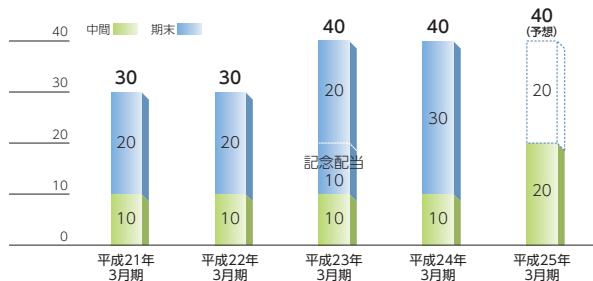
所有者別株式状況



株価・出来高の推移 (単位：円/千株)



配当金推移 (単位：円)



第6期中間配当に関するご案内

■ 第6期中間配当金のお知らせ

当社は、平成24年11月9日開催の当社取締役会において、第6期（平成24年4月1日～平成25年3月31日）の中間配当金の支払について以下のとおり決議しましたので、ご案内いたします。

- ・ 中間配当金：1株につき20円
- ・ 支払開始日：平成24年12月5日（水）
- ・ 対象株主：平成24年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主様

株主優待に関するご案内

■ 株主優待商品券の利用店舗拡大のお知らせ

平成24年6月15日開催の当社取締役会において、当社の株主優待制度の利用店舗をグループ店舗へ拡大する旨決議いたしました。

現在は、本資料の店舗ネットワーク（5頁・6頁）でご紹介しております当社グループ店舗にてご利用可能となっておりますので、是非ともご利用くださいますようお願いいたします。

（注1）株式会社ダルマ薬局、株式会社マツモトキヨシファーマシーズの店舗を除きます。

（注2）利用可能なグループ店舗のうち、調剤薬局にて医療機関より処方される処方薬には利用できません。

〈株主優待概要〉

優待内容：当社グループ店舗で利用可能な商品券

対象株主：毎年3月末及び9月末現在の株主名簿に記載又は記録された1単元（100株）以上所有の株主様

贈呈基準：	所有株式数	金額
	100株以上	2,000円分
	500株以上	3,000円分
	1,000株以上	5,000円分

贈呈時期：毎年以下の時期の発送を予定

- ・ 基準日が9月末の場合は12月上旬
- ・ 基準日が3月末の場合は6月下旬

株主アンケートご協力をお願い

株主の皆様の声をお聞かせいただくため、株主アンケートを添付しております。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

株式会社  ホールディングス

<http://www.matsumotokiyoshi-hd.co.jp/>

〒270-8511 千葉県松戸市新松戸東9番地1
TEL. 047-344-5110（代表）

UD
FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

